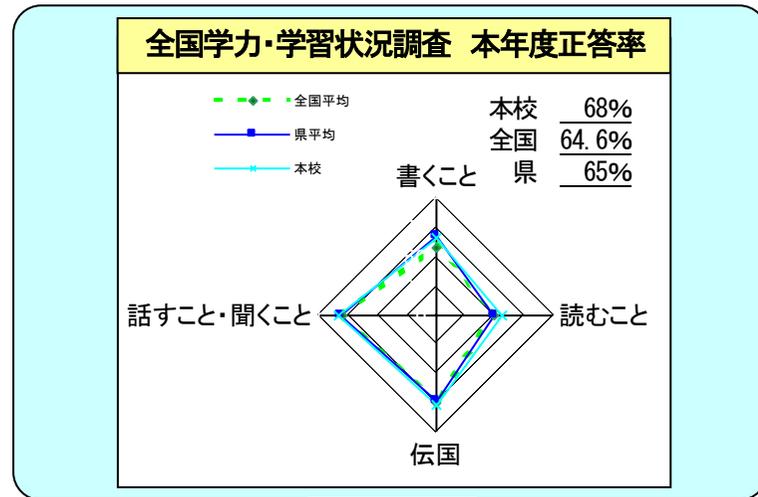


指導方法等の改善計画について〔国語科〕



重点課題

【課題1】書いた文章を読み直し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書く。(意見文の下書きを直した意図として適切なものを選択する。)
(平均正答率25.7% 県平均との差▼0.5%)

【課題2】相手や場に応じて敬語を適切に使う。「行く」を適切な敬語に書き直し、その敬語の種類として適切なものを選択する
(平均正答率34.3% 県平均との差▼3.4%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

【課題1】意見文などの下書きを直した意図を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することを考えさせる。

【課題2】敬語の種類を理解させ、相手や場に応じた適切な敬語を考える活動をさせる。

※ 小中一貫した取組については、…言語の基本的な知識を定着させ、目的や場面に応じて、全体の構成を捉え、条件に合わせて、考えをまとめて書く活動に重点を置く。

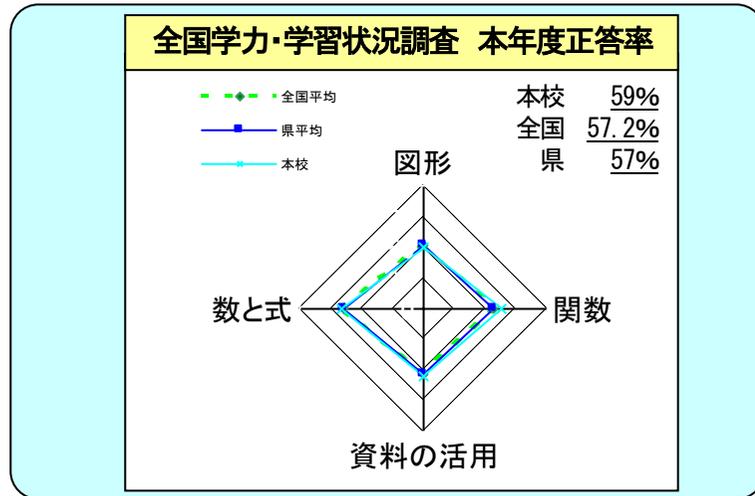
【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			2, 3年 期末試験		3年 学年末試験	1, 2年 学年末試験	
目標値			30%		40%	40%	
実施後数値			2年30% 3年32%		38%	1年16% 2年17%	

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			2, 3年 期末試験		3年 学年末試験	1, 2年 学年末試験	
目標値			35%		45%	45%	
実施後数値			2年52% 3年61%		59%	1年24% 2年67%	

来年度に向けて

【課題1】改善指導を継続するとともに、推敲の観点に段落相互の関係を入れて指導する。

【課題2】改善指導を継続する。



重点課題

- 【課題1】扇形の中心角と弧の長さの関係を理解している。(扇形の中心角 60° のとき、弧の長さが同じ半径の円の円周の何倍か求める。)
(平均正答率55.7% 県平均との差▼9.4%)
- 【課題2】データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。(2つの度数分布折れ線のグラフのズレから、「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある」といえる理由を説明する。)
(平均正答率7.1% 県平均との差▼3.4%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

- 【課題1】扇形の中心角が 60° 、 120° 、 180° 、...と2倍、3倍、...になると、弧の長さや面積も2倍、3倍、...になることを、円を分割した図をもとに理解させる。そして、円全体の何分のいくつかを考えさせる。なぜそうなるか、理由を書かせる。
 - 【課題2】判断の理由を数学的な表現を用いて説明する機会を増やす。表現がしやすいように、キーワードを示し、キーワードを含めた文章を記述させるなどして、理由を説明することに慣れさせる。
- ※ 小中一貫した取組については、単位に注目して数量の関係を捉え、変化の特徴や問題解決の方法を「図・表・式・グラフ」などの数学的表現を用いて表現したり、表現されているものを読み取って考えたりする活動に重点をおく。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			2, 3年 期末試験		3年 学年末試験	1, 2年 学年末試験	
目標値			60%		70%	70%	
実施後数値			2年51% 3年68%		74%	1年65% 2年63%	

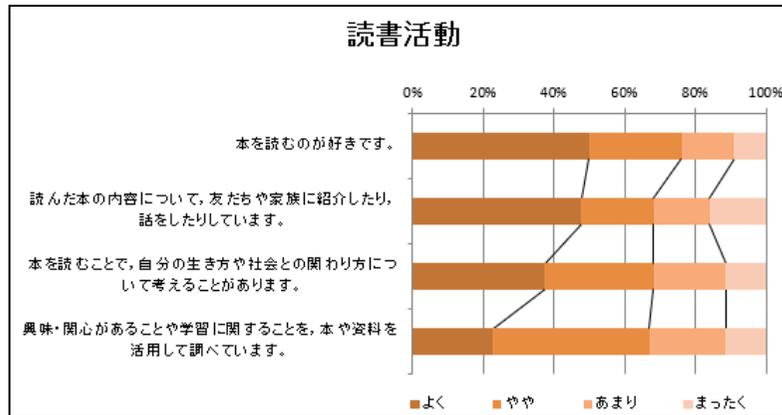
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			2, 3年 期末試験		3年 学年末試験	1, 2年 学年末試験	
目標値			10%		20%	20%	
実施後数値			2年49% 3年42%		74%	1年57% 2年56%	

来年度に向けて

- 【課題1】図をもとに考え、理由を書かせる指導を継続する。
- 【課題2】データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて書く活動を継続する。

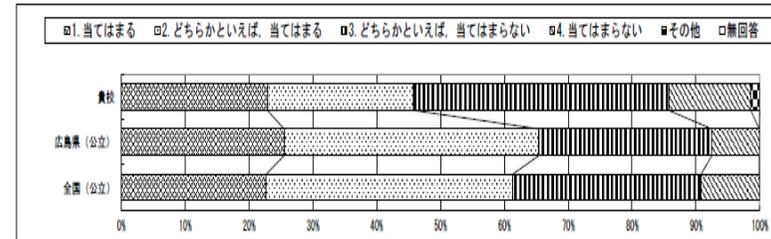
質問紙調査 (全国学力・学習状況調査：生徒質問紙調査) (児童生徒学習意識等調査：生徒質問紙調査)

(1) 生活・学習

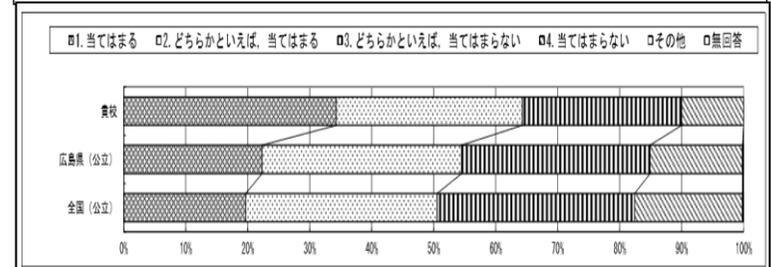


	生徒の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
全国・学習意識等	「1ヶ月の間に、何冊くらい本を読んでいきますか。(電子書籍等の書籍を含み、教科書や問題集、漫画、雑誌はのぞきます。)」1冊より少ないと回答 (36.3%県平均との差▼3.4%)	総合的な学習の時間を使って、必要な情報を得るために、図書館の本を利用する。	2年	30%未満	生徒アンケート調査	12月	27.6%

国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか



数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えます



	生徒の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
全国・学習意識等	「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか」(45.8%県平均との差▼19.6%)であるが、「今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題についてどのように解答しましたか」という質問に対して「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」(91.4%県平均との差+12.7%)と、最後まで諦めずに問題に取り組んだ生徒が多いことがうかがえる。	授業の中で、自分の考えを、全体指導の前に、タブレットを用いて班の中で考えを交流する時間を設ける。人が発表しているときには、しっかりと聞くように指導し、お互いに考えを発表しやすい環境をつくり、理解できない点については質問する時間を設ける。	1年 2年 3年	70%	生徒アンケート調査	12月	75%
全国・学習意識等	どの設問も県平均より高く、意欲的に学習している生徒が多いことがうかがえる。もっとも肯定的な回答が少なかったのは「数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えます」(64.3%県平均との差+9.8%)	教科書の活用問題を利用して、普段の生活の中に活用されている数学の事例を紹介する。どのように活用すればよいか理解できるように、教具やワークシート等を工夫する。より多くの生徒に数学は生活に活用できることを実感してもらいたい。	1年 2年 3年	70%	生徒アンケート調査	12月	81%